



商 工 会 報

あ ち

第 66 号

発行 阿智村商工会
電話0265-43-2241

編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)

URL: <http://www.achimura.com/> メール: info@achimura.com



阿智の夏祭り

心に残る感動の祭典!

花火部長 齊藤市男

阿智村の夏のイベント阿智の夏祭りが七月二十九日に開催された。

夕暮れと共に、村内十九団体に参加したみこしや若者達による「火祭り」、阿智川河畔で打ち上げられる約二千五百発の大煙火大会が村内外から訪れた観衆を魅了した。特に阿智公園、阿智川河畔

でくり広げられた煙火は超特大スターメインが次々と打ち上げられ、河川敷に陣取った大勢の観衆は感激の歓声で盛り上がった。

厄年の男達がたいまつを手に阿智川までを練り歩く「虫送り」ではクライマックスに落とされる火の玉が祭典の終盤を見事に盛り上げることに

成功し、超特大スターメインの競演を最後に夏祭りの終演となりました。

多くの人々の協力支援、祭りを成功させようとする強力な団結力。それぞれの役割をみごとに果たしたチームワークと、祭りを作り上げていく自治会、各種団体の皆様の活動に力強いものを感じました。

寄付活動、玉の拾い出し、番付けの編成、花火の打ち上げに関しては、花火部役員を始め商工会事務局の皆さんに心より感謝申し上げます。

最後に、夏祭りを成功させたパワーが、今後の商工会活動に活力を与え、阿智村の発展に大いに貢献するものと思います。何日も何日も費えた皆さん本当にご苦労様でした。そして多くの皆さんのご参加ご支援に心よりお礼申し上げます。

観客の皆様にお聞きしました

●五十年間の歴史と臨場感がすごい。実行委員の皆様が大切に育てて来た気持ち観る方に伝わり心の通い合いが良い。神坂峠で阿智村と中津川市はつながっているのが隣組として盛り立てていきたい。人にやさしい古道東山道を全国に売り出していきたい。

(中津川大山市長)

●頭上で開くので、花火に囲まれているようだ。何回も来ているがこの花火が豪勢で良い。とにかくすごい。

(飯田市上郷のMさん)

●大変結構です。友人数名で観にきましたがこれで帰れます。

(中津川市Tさん)

聞き手・浜島弘尚・田中俊充



火の輪くぐり

第46回通常総会 ～合併後初～

五月十六日、阿智村商工会館において、阿智村・浪合村両商工会合併後初の総会が岡庭村長さんをはじめ多くのご来賓を迎えて盛大に開催されました。

任期満了による役員改選により、新役員が選出されました。

新しい顔ぶれ

会 長

片桐 美治

副会長

井原 忠亮・折山 登

理 事

大下 晃平・林 鎮雄

小池 正寛・熊谷 智徳

藤倉陽太郎・浜島 弘尚

勝野 和雄・田中 登

小松 敏明・林 和男

井原 良徳・斎藤 市男

伊坪 秀男・倉田 英行

松下 昭三・塩沢 洵弐

佐々木真寛・玉置 清司

虎岩 良知・田中 俊充

熊谷 孝志・大前 智宏

堀本 良子

監 事

熊谷 耕平・原 謙次



片桐 美治



井原 忠亮



折山 登



大下 晃平



林 鎮雄

永年勤続従業員表彰

議事終了後、次の二十二名の皆さんが表彰を受けられました。

長野県商工会連合会長表彰

●勤続二十年

石原志げ子 (清風苑)

原 明子 (阿智開発公社)

●勤続十五年

窪田 慎一

(昼神温泉グランドホテル)

大下 浩二 (タケダ化工)

●勤続十年

小野曾 聡 (湯元ホテル阿智川)

松本 尚子 (湯元ホテル阿智川)

熊谷 正秀 (南信土木建築)

松原 茂男 (南信土木建築)

上原 芳恵

(昼神温泉グランドホテル)



田中 俊充



熊谷 孝志

事業計画・収支予算

総会では、合併後の新商工会の充実と西部四商工会との広域連携を推進するため、今年度は次の項目を重点とする事業計画と収支予算が承認されました。

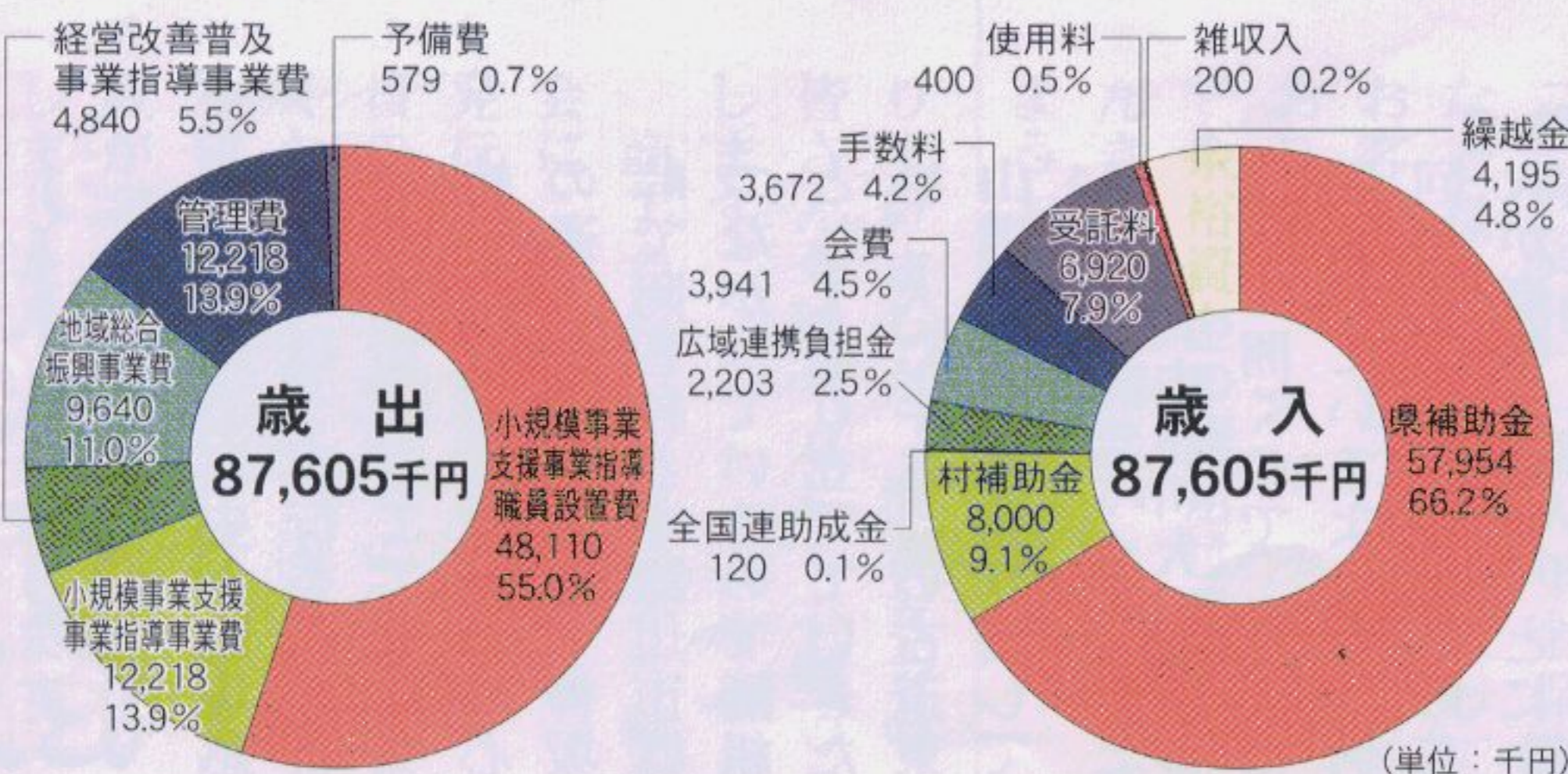
重点項目

- 一、広域指導体制の推進と巡回指導体制の確立
- 二、経営改善普及事業の充実
- 三、創業・経営革新支援事業の推進
- 四、行政と連携した強力な産業振興の推進
- 五、会員組織率の向上と会員意識高揚のための活動
- 六、IT時代に対応する情報化事業の強化
- 七、商工貯蓄共済事業の推進

- 久保田亜紀 (ホテル恵山)
- 熊谷 周浩 (阿智工務店)
- 金田 慶財 (阿智工務店)
- 熊谷早代子 (ヘブンスそのはら)
- 阿智村商工会長表彰
- 勤続五年
- 原 信隆 (湯元ホテル阿智川)
- 増山 信之
- (昼神温泉グランドホテル)

- 市井川 登 (ホテル恵山)
- 野口真沙子 (ホテル恵山)
- 松原 秀子 (タケダ化工)
- 湯澤 敬輔 (阿智開発公社)
- 塩澤 京子 (阿智開発公社)
- 木下 昭彦 (ヘブンスそのはら)
- 中塚 文枝 (ささき薬局)
- (敬称略・順不同)

平成十八年度予算
予算総額八七、六〇五千円
(前年対比九九・五%)



新旧会長あいさつ



会長 片桐美治

先の総会に於いてその力量のない私が会長に選任いただき早三ヶ月が過ぎました。

この間関連商工団体の総会事業など目まぐるしい日々がつづき、あらためて前中山会長のご苦勞が拝察されます。数々の実績を残されました十一年間のご活躍に会員一同心からお礼を申し上げます。

商工会は今、県の小規模企業支援策の改革などによる補助金の削減など厳しい状況の中、会の運営も指導員、職員体制を始め見直しを余儀なくされています。浪合商工会との合併、西部四商工会の広域連携を進めその幹事商工会を受け持つなど最大限の努力をしているところであります。

景気はこの十月には戦後最長のいざなぎ景気の五十四ヶ月に並ぶといわれます。しかしながら企業間、地方と都市との格差は広がる一方といわれ、地方の商工業を取り巻く環境は、今後更に厳しくなるものと思えます。この様な状況下、地域の経済団体としての務めを果たしながら商工会発展のため役員一丸となって頑張つてまいります。会員企業のご繁栄とご健勝ご多幸をご祈念申し上げますと共に、力不足の会長でございます。関係各位のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。



前会長 中山公道

会長退任にあたり、一言、感謝とお礼を申し上げます。

十一年間という永きにわたり、皆様方の暖かい御支援と御協力に支えられ会長を勤めることが出来ました。ほんとうに有難く改めて感謝を申し上げます。多くの皆様方から御指導をいただく中で、色々な経験も勉強させていただきました。私の人生で最も充実した歳月であったと振り返り、今感謝の気持ちで一杯であります。

商工会改革という大きな流れの中で、私たちは地域の商工指導団体としての商工会の発展と充実のために、最善の道を選択し努力してきたと、今思いを新たに致しております。

県の御指導のもと、県下に先駆けて平成十六年度には清内路村商工会と連携を組みました。そして十七年度には西部の経済圏は一つとの考えのもと、西部五ヶ村商工会が広域連携を構築致して来ました。又、今年四月には、行政の合併に伴い浪合村商工会さんと合併を致しました。その間、変化する商工会に多大な御理解と御協力をいただきました。また、皆様の御協力に感謝を申し上げます。この取り組みは決して間違っていないと確信を致しております。地域経済発展の為に今後益々商工会への期待も多く、その責任も大なるものがあると感じております。商工会の更なる発展と会員の皆様方の益々の御繁栄を心から御祈念申し上げます。

指導カルテNo.23

企業経営における重要な80対20の法則

経営指導員 片桐 義夫

成功の理由を分析する者は、80対20の法則の使い方を知っているとされています。

成長、収益性、満足の80%は顧客の20%がもたらす。将来の望ましい姿を明確に描くには、企業は最低限、この大切な20%が何かをつかんでおく必要がある。この法則には忘れてはならない鉄則が3つあります。

1. マーケティングは、そして全ての業務は、全コストを差し引いた利益の80%を生み出す20%の驚異的な製品やサービスの提供に全力を集中すべし。
2. マーケティングは、そして全ての業務は、会社の全売上高または全利益の80%を生み出す20%の顧客を喜ばせ、引きとめ、そうした顧客への販売をさらに伸ばすために全力を集中すべし。
3. 生産とマーケティングの間に、何ら対立はない。ターゲットとする顧客に他社が提供できないものを提供するか、製品サービス、価格の総合的な価値が他社よりも高ければマーケティングに成功するというだけの話である。

このように、この法則を参考に企業経営者が全社をあげて奉仕することが、将来も約束され企業存続の大切な鉄則として重要視されていますので、ぜひ実践していただくことを念願しております。



ベゴニアで駒場商店街に彩を

阿智中一年 七十二鉢を三十六カ所へ配布 (今年で四年目)

六月二十七日中学生七十二人の育てたベゴニアのプランターが商工会へ贈られました。小池正寛商業部長ら商工会役員六人が生徒らと協力してプランターを軽トラック三台に積み込み、三十六カ所へ配布しました。プランターには生徒の氏名を書き込み、手入れの方法や「大切に育てて下さい」などの手紙を添えて各商店へ渡しました。十月末頃まで大切に管理しましょう。

やりがいと元気をを感じる青年部活動
阿智の皆さんと一緒に活動してみよう
 塩 沢 善 久 (旧浪合村商工会青年部長)

青年部

村・商工会の合併に伴い本年度より旧浪合村商工会青年部も阿智村商工会青年部に編入させて頂きました。昨年から忘年会を合同で開催するなどし、阿智村商工会青年部の活動が活発に行われているのを感じていましたが、今回は、阿智村商工会青年部の皆さんと知って頂く良い機会になったと思います。作業後の慰労会では、新入部員四名の皆さんカーブミラー拭きや夏祭りのバザー等に参加してさらに痛感しました。

今年度のカーブミラー清掃事業は七月九日に浪合地区で行って頂きました。当日はあ

いにくの雨の中での作業となりましたが、阿智の方々には初めて浪合地区を訪れた方もいたようで、浪合地区を知って頂く良い機会になったと思います。作業後の慰労会では、新入部員四名の皆さんカーブミラー拭きや夏祭りのバザー等に参加してさらに痛感しました。

また、七月二十九日の夏祭りのバザーにも参加させて頂き、暑い中みんなで焼き鳥やフランクなどを焼き、販売しながらお客さんと接することができた事は、良い体験ができました。夏祭りの人の多さと、焼いた焼き鳥の本数を見るの大きさに驚きました。阿智の皆さんは毎年こんな体験をしているのかとつくづく思い

ました。私的には当日の準備や、翌日の後片付けに参加できなかったことは残念でした。しかし、これからもできる限りいろいろな事業と一緒に参加していきたいと思つた新たな仲間です。浪合地区では現在、青年部員三名と準部員三名の小さな支部ですが、今後の活動にも参加し皆さんとの交流を深め、早く阿智村商工会の輪の中に入れるよう浪合同頭張りますので、阿智の商工会青年部員の皆さん、それから地域の皆様よろしくお願ひします。

新年度の始まりです

女性部

部長 堀本良子



熱心な研修風景

十八年度女性部も浪合支会の部員の方を迎え、四月当初百二十四名の会員数でスタート致しました。その後も数名の方の加入があり嬉しく思っています。四月二十日には、万葉の里園原を視察見学した後、総会が開催され今年度も例年通りの事業を行う事が決定されました。役員改選年度でもあり、副部長、常任委員、監事の方々の中で数名の異動



美しい作品のできあがり

と入れ替わりがありました。私としても部長をもう一期させ

て頂く事になり改めて身の引き締まる思いです。今までの三年間も本当に沢山の方々から暖かいご支援とご協力を頂きました事を心から感謝致しますと共に、今後共より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

今年度の第一回目の事業でありますボランティア活動として介護ホームそらへ、窓拭き、草取りの作業に行つてきました。梅雨時でもあり天候が心配されましたが、雨もじつと我慢をしてくれてお陰で、外での草取りもすべて終

える事ができました。小規模ならではの家庭的なホームの見学もさせて頂き、利用者の方々の会話も弾み私たちも汗をかきながら予定通りの作業ができました。又七月十三日には勉強会として浪合史跡等の視察と御所の里での押し花体験が行われました。近頃は、とても楽しい時間を過ごされた様子でした。女性部の事業の楽しさや自分の為になる事が沢山あると思ひます。自分磨きの為に女性部を利用して下さい。



雨の中でのカーブミラー磨き



新入部員歓迎会で自己紹介

スローライフ先進地

視察研修レポート

経営指導員 片桐義夫

七月二十四日～二十五日にかけて下伊那西部地域の関係者十二名が参加し朝7時に栃木県へ向け出発、途中昼食を取り午後二時に目的地へ到着いたしました。

今回の視察研修の目的は、平成十五年度から取組んでいます栃木県商工会連合会のスローフード・スローライフ事業の現地研修でありました。

消費者の皆様は、「心からのおもてなしやこだわりの食材」など、本当の豊かさを求めてきているといわれています。「お腹を満腹にする時代」から「脳を満腹にする時代」の到来とも言われ、「言葉のスライス」が何よりのご馳走になります。こうした要望に応えるため、誕生した事業が「スローフード・スローライフ推進事業」です。

イタリアの「スローフード運動」を参考に、全国に先駆けて始められた事業とのことで、主に「地域こだわりの食材や癒しの空間」を提供している「食」に関する店舗・旅館・ホテルなどを応援するものです。初日は西方商工会館で燃料

小売業の会員と商工会長の事業所である飯沼銘醸酒造の説明を聞き、酒蔵の視察を行いました。地元で栽培された酒米を使用した作っているこだわりの酒を帰りの車中で試飲し大変好評でした。

翌日はホテルの会議室で一時間三十分、那須高原で手打ちそばと釣堀を手掛けている高根沢さんのスローライフ推進運動への熱い取り組みの話と県連合会の稲葉光二事務局長による、今、なぜ「経営革新」かと題した講演で、自ら手掛けた苦労話を伺いこの事業の奥深い内容に触れる事になりました。私達も西部地区の連携によりこの事業を推進しようと考えておりますが、今後を担う大事業と思っております。

下伊那西部地域の活力ある積極的な活動が他の地域との大きな差別化を生み、経済効果となつて表れることをチャレンジ目標として、栃木県に負けない地域としたいものだと思っております。



栃木県飯沼銘醸酒造店の前

「昭和のまちづくり」を探る

駒場まちづくり委員長 原 謙次



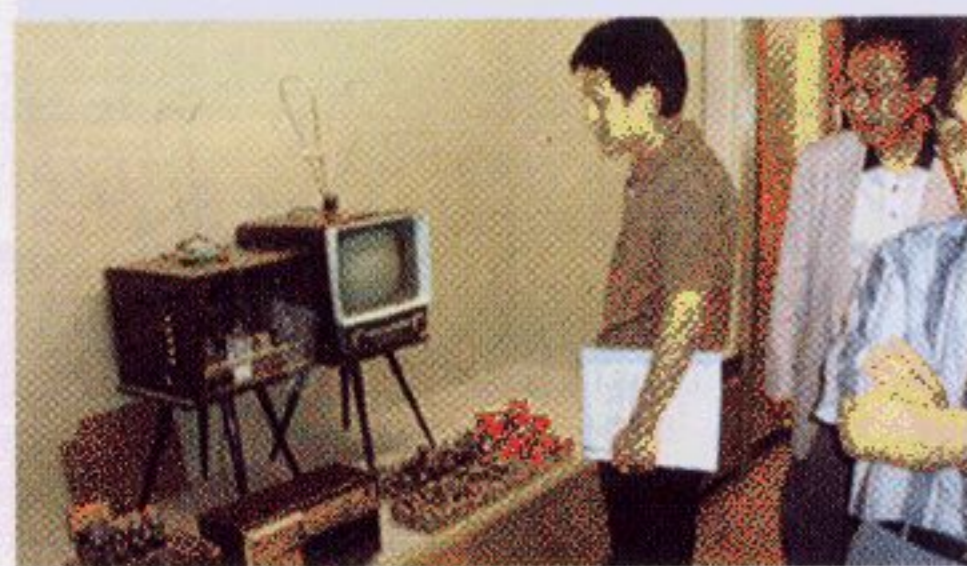
こんな店が懐かしい

第三回 駒場まちづくり委員会発足にあたり、六月二十四日午前八時に視察に向かいました。目的地は後ほど。

第一回目の委員会では、方向性を探る為に大分県豊後高田の昭和のまちづくり。熊本県由布院の工房のある町並みと癒しと滞在型の温泉まちづくり。黒川温泉の入湯手形(千二百円で三軒までの回遊が可能)などを視察。

第二回目の委員会では、今までの意見を参考にして縁日、フリーマーケット、バザーでは、豆腐の製造販売、手打ちそばの試食会、地場産の野菜、果物の販売を行い又、空き店舗(八月～十月)も開店しました。

三回目となる今回は今迄の視察で味わえなかった、懐かしいの場所でした。そしてそのステージを用意してくれたのが北名古屋師勝町の郷土資



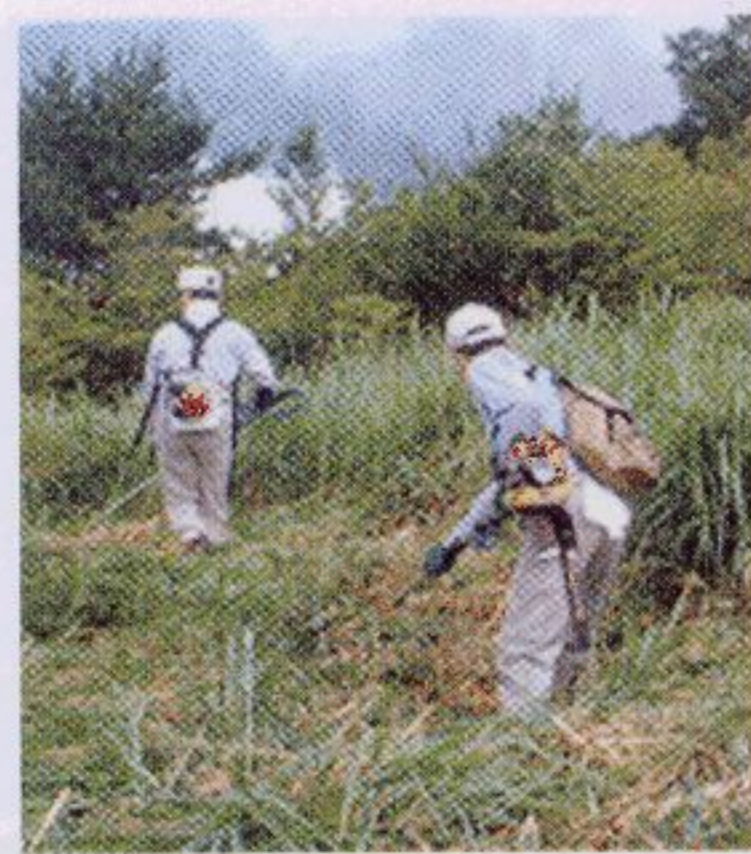
資料館にて視察風景

料館でした。昭和四十五年頃までの一般家庭の食事風景、農家の間取りそして、お菓子屋、電気屋、雑貨屋等の店舗が展示してあり他にも昭和三十年代の三種の神器(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)、オートバイ・おもちゃ等も沢山収集され、展示されていきました。特に、私の目を引いたのが昔懐かしい、たばこ屋のガラス窓に付いたタイル張りの売り場でした。現在では自販機が並び味も素っ気もありませんが、昔はあのガラス窓の向こうには「たばこ屋の看板娘」ではなく、おばさんがいて何か一言声をかけてくれたりしながら売ってくれた事を思い出しました。駒場にも吉川屋、沢屋、葛屋、北原のたばこ屋さんがあり造りはほとんど同じで全国的である事も分かりました。最後に、まちづくり委員会では、昭和のお宝(おもちゃ、電気製品、看板)を収集しますのみなさんのご協力を願います。

支会だより

味覚の秋へ向けて

浪合支会長 松下昭三



環境整備ごころうさま

この度の合併から早くも八月になりました。阿智村の夏祭り、浪合の夏祭りそれぞれ良い天候に恵まれて盛大に開催され、参加された方々は大変ご苦労様でした。

さて、私達浪合支会では恒例事業である治部坂公園、山道などの整備を行いました。浪合の秋は他村より一足早いので例年につづいて九月より秋の味覚のなめこ・クリタケ・エリンギの菌床の埋め込み作業を行いたいと計画いたしております。昨年は大収穫でしたので今年も大変楽しみにしております。

最後になりましたが今、浪合支会はいろんな事につまずいておりますので、今後さらに本会の皆様を始め多くの方々の手厚いご支援ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

企業探訪・新会員紹介 No.58

高原の味 直売所 みはらし

住 所 阿智村浪合409
代 表 者 山口芳夫
開 業 昭和48年
営業時間 午前9時～午後5時(7月上旬～12月)
業務内容 高原野菜(主にとうもろこし)直売・食堂

香ばしい匂いに誘われて、とうもろこしを焼いていた「みはらし」さんの看板奥様、山口美那さんにお話を伺いました。

昭和48年、あららぎカントリークラブのオープンと同時にプレハブの建物で開業し、昭和58年、浪合バイパス開通に合わせて現在の浪合トンネル付近に店舗を構えました。旦那さんと息子さん、娘さんの家族4人が、2ヘクタールある畑で丁寧に作った野菜(主にとうもろこし)を直売、食堂も経営しています。

毎朝4時に起きて野菜を収穫し、運んで袋詰め、宅配のための梱包等、大変な重労働ですが、年に1回来てくれるお客さんが「おばちゃん元気!？」と声をかけてくれるのがうれしいとか。2月下旬になれば始まる野菜作りも楽しいそうです。



7月の寒さが影響し、とうもろこしは小ぶりで収穫量も少なめ。でも味は例年以上。「もう宣伝はいいで…」と言わせるほどの売れ行きでした。

ひるがみ茶屋

住 所 阿智村智里346-22
代 表 者 小山宣子
創 業 平成18年3月3日
業務内容 まんじゅう製造販売
土産品販売・喫茶
従 業 員 2名
収容人数 20名

昼神温泉の中心に位置している「ひるがみ茶屋」は朝市に合わせて朝6時には開店しています。

明るい笑顔で接客しようと心掛けて6ヶ月経過したところですが、中京方面からのお客様の多くはリピーターになりつつあり、一度来店していただいたお客様は二度来てもらいたいとの熱い思いが、少しずつ浸透しつつあります。その証拠に長野県中心地域で起きた災害の時はお客様から心配の電話をいただきました。

これからも心を込めた一品一品を通してお客様に愛され続けるよう励んでまいりますのでよろしくお祈りします。

店主 <お知らせ>天ぷら用まんじゅう及びお誕生日・記念日などにデコレーションケーキの予約注文を承っております。



雰囲気の良い入口です

信金だより



飯田信用金庫 駒場支店 浅岡大二

日頃は飯田信用金庫駒場支店をご利用頂き誠にありがとうございます。

私は、駒場支店で預金業務を担当しております浅岡大二と申します。六月に転勤してきましたばかりで、いつもは窓口の後ろの方で、ニコニコしておりますので、ご来店の折には気軽に声をかけてください。さて、しんきんでは金利上乘せの定期預金の発売など、他、お客様の為に余裕資金の運用相談をうけたまわっております。

編集後記

本年度は任期満了による役員改選により新会長に片桐美治氏が選ばれました。中山会長には長年会長を勤められ心より感謝申し上げます。

商工会も四月一日、浪合との合併により浪合支会が誕生しましたので、企業探訪・支会だよりで浪合を取

ります。最近では、余裕資金は積極的に運用しようという考え方が広がりつつありますが、資金の運用にはリスクが伴います。

でもリスクを正しく理解し上手につきあえば、資金の運用はそんなに怖いものではありません。

余裕資金の運用をしてみたいけれど、どうしようかしらという方は是非しんきんにご相談下さい。しんきんでは「投資信託」「個人年金保険」など様々な商品を用意して、お客様のニーズにお応えしております。

余裕資金の運用は是非、しんきんにご相談いただきますようお願いいたします。

り上げました。浪合支会の皆さん今後共宜しくお祈りします。

商工会報「あち」も本総会にて今まで通り年三回の発行が決まりましたので会員の皆様方の協力の程宜しくお祈りします。尚六十六号発行が一ヶ月遅れになり、我が家の秘蔵写真をお休みしました事、おわびします。

編集委員長 田中 登